

(様式— 1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和4年度)

1	表題 (課題) 名	新潟安田線ICさく井工時における使い水用簡易井戸の設置																					
2	工事 (業務) 名	R4阿賀野バイパス消雪設備工事																					
3	受注者名	株式会社 興和																					
4	工 期	令和 4年 7月 12日 ~ 令和 5年1月13日																					
5	担当技術者 (立場) 名	現場代理人	(ぬま ゆうじ) 沼 裕司																				
6	担当主任監督 (調査) 員	専門調査官																					
7	課題区分名	④コスト縮減																					
8	工事 (業務) 概要	新潟安田線ICと道の駅あがのの消雪設備の施工																					
9	【施工における 課題・問題点 等】																						
さく井工施工時は毎日約2000L~3000Lの使い水が必要となる。通常ならば付近の水路や近隣の民家水道などから水を調達するが、新潟安田線ICさく井工付近にはそれらが無かった。よって使い水の調達が課題となった。																							
10	【実 施 内 容】																						
①使い水用簡易井戸の設置と②散水車による使い水の運搬、双方のコストを比較し低コストのほうを採用する																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>工法</th> <th>日数</th> <th>日単価(円)</th> <th>計(円)</th> <th>採用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>使い水用簡易井戸の設置</td> <td>1</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>散水車による使い水の運搬</td> <td>15</td> <td>40,000 (散水車+人件費)</td> <td>600,000</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>							工法	日数	日単価(円)	計(円)	採用	①	使い水用簡易井戸の設置	1	100,000	100,000	○	②	散水車による使い水の運搬	15	40,000 (散水車+人件費)	600,000	×
	工法	日数	日単価(円)	計(円)	採用																		
①	使い水用簡易井戸の設置	1	100,000	100,000	○																		
②	散水車による使い水の運搬	15	40,000 (散水車+人件費)	600,000	×																		
11	【実 施 結 果】																						
コスト比較の結果、①使い水用簡易井戸の施工を採用した。 ①のほうが②より500,000円コストが低く、さく井工施工時の施工性も良かった。																							

使い水用簡易井戸設置状況



使い水用簡易井戸設置状況



使い水用簡易井戸に水中ポンプ設置

